

# SDGs 未来都市・横浜の取組について

温暖化対策・環境創造・資源循環委員会  
令和5年5月30日  
温暖化対策統括本部

横浜市は、「SDGs 未来都市・横浜」として、横浜市中期計画（2022-2025）に基づき、各区局統括本部が主体的にSDGsを推進するとともに、「ヨコハマSDGsデザインセンター」を中核に、民間事業者等の持つノウハウも活用しながら、社会課題や地域課題の解決に向けたプロジェクトをはじめ、事業者や団体等を支援する認証制度の実施など、2030年のSDGsの達成に向けた幅広い取組を、引き続き推進していきます。

## 1 ヨコハマSDGsデザインセンターについて

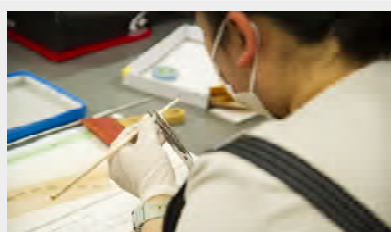
ヨコハマSDGsデザインセンター（以下、「デザインセンター」という。）は、環境・経済・社会的課題の統合的解決に向け、市と民間事業者が共同で運営する中間支援組織であり、国の「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。

具体的には、SDGsの取組に関する相談対応、コンサルティング、市民や団体、事業者等の多様な主体と連携したプロジェクトの推進、横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”の運用、WEBやSNS等を活用した広報・普及啓発等を行っています。＜概要は裏面参照＞



## 2 環境・経済・社会的課題の統合的解決に向けたプロジェクト事例

### 環境面の取組例



#### ヨコハマ・ウッドストアプロジェクト

脱炭素化や海洋プラスチックごみ対策のほか、多様な方の活躍等にもつながる取組として、道志村の水源地の間伐材を原料とした木製ストアを、障害者施設とも連携して製作し、普及拡大を図っています。



#### Renewable Diesel 普及促進

廃食油等から生産される環境に優しい新燃料「Renewable Diesel」の普及拡大を目的に、イベント等でのPRや普及啓発を、事業者と連携し実施しています。



#### 海中教室

子どもたちが身近な海の歴史や海洋プラスチックごみ問題等について学び、考える場の提供を目的に、市内小学校の教室と海をライブ映像でつなぐ海洋教育プログラムです。

### 経済面の取組例



#### 横浜 GRITS×DC アップサイクルプロジェクト

市内プロスポーツチーム及び都筑区内の中小製造業者と連携し、折れたアイスホッケースティックをチームグッズにアップサイクルするとともに、収益の一部を教育・福祉関連のプロジェクトに活用します。

#### SDGs 経営 はじめの一步

#### 横浜商工会議所と連携したSDGs経営支援

横浜商工会議所とデザインセンターが、市内中小企業のSDGs経営相談に連携して対応する体制を構築し(令和5年4月～)、取組ガイドブック「SDGs経営 はじめの一步」を共同で作成しました。これを活用しながら、相談対応や広報啓発を進めています。



#### Fun×SDGs サステナブルなまちづくり

市民や来街者が楽しみながらSDGsや脱炭素に取り組める仕掛けづくりのため、エンタメやデジタル技術を持つDeNAとの連携協定を締結し、取組を進めています。取組のひとつとして、EVカーシェアによるCO2削減量の見える化を実施しています。

### 社会面の取組例



#### YOKOHAMA 未来デザイン部

公募の高校生による、企画・参加型の取組を進めています。先進的に取り組む事業者の取材や新聞記事作成のほか、市内商業施設と連携したSDGsイベントに企画段階から参画するなど、SDGsを通じた次世代育成にもつなげています。



#### SDGsステーション横浜関内

市民や来街者などの多くの方に、SDGs未来都市・横浜の取組を発信するための拠点として設置しました(令和5年3月)。地下鉄関内駅構内のスペースを活用し、事業者の取組紹介のほか、シェアリングサービス等の提供等を行っています。



#### 事業者向けSDGs研修プログラム～ソーシャルサーカス～

サーカス技術の練習や習得を通じて、障害や事情のある・なしを超えた、互いの個性を尊重した組織づくりや能力開発に向けたプログラムを事業者に提供しています。

## 3 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”

- 事業者等の持続可能な経営・運営への転換に向けた支援や、金融機関等による投融资判断への活用を目的に、令和2年度に創設した認証制度で、これまでに、577者が認証を受けています。
- デザインセンターが運用の中心を担い、応募事業者のSDGsの取組状況をヒアリングし、外部評価を行ったうえで市が認証しています。令和4年3月には、仕組みや金融機関等と連携した取組等が評価され、国の「第1回地方創生SDGs金融表彰」を受賞しました。
- 今年度は、システム化による手続きの効率化を進め、認証事業者数の拡大を図りながら、引き続き、SDGsに取り組む事業者を支援していきます。



評価項目/区分	E・S・G・L(環境・社会・ガバナンス・地域)の4分野・30項目/標準・上位・最上位の3段階
認証数	延べ577者(令和5年4月1日現在)
メリット	本市入札制度における加点、中小企業向け支援制度での信用保証料軽減、SDGs・脱炭素化に資する事業への融資における利子軽減、評価項目に応じた各種サポートなど

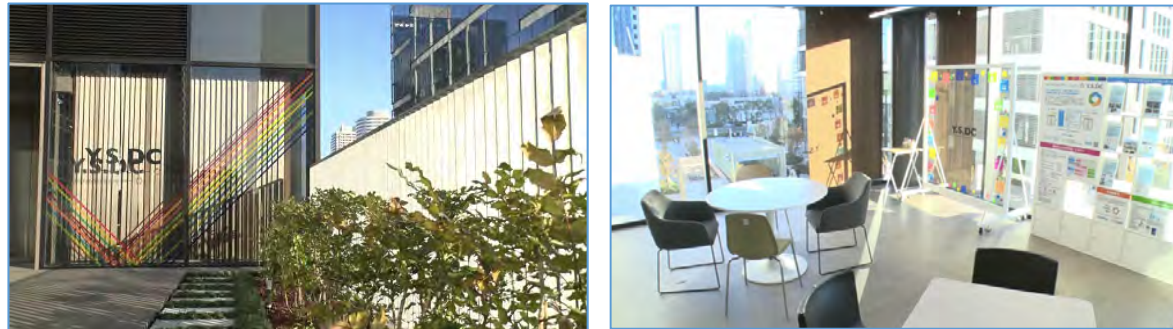
《参考》デザインセンター概要等

○機能・概要



開設時期	平成 31 年1月
場所	横濱ゲートタワー3階(みなとみらい21地区) ※令和3年12月～
共同事業者	株式会社エックス都市研究所、合同会社サステナブル・デザイン都市戦略研究所、凸版印刷株式会社、株式会社日本総合研究所
コーディネーター	15名(総合コーディネーター及び各専門分野のコーディネーター(環境・プロモーション・自治体連携・ICT など))
会員数	約 1,500 名(令和5年4月現在)
相談実績	年間約 300 件

○デザインセンター拠点



○WEB等による広報



《デザインセンターHP》



《YouTube チャンネル》